

Japan Business Association of Southern California

1411 W. 190th St. Suite 220, Gardena, CA 90248
Phone : 310-515-9522 Fax : 310-515-9722

<http://www.jba.org>



残暑厳しい9月の第2、3週の土日、第52回ソフトボール大会を開催した。今年、栄冠を手にしたのは、昨年8連覇を逃し臥薪嘗胆の一年を送った Mitsubishi Electric だった(詳細は p.2-4)

2-4

第52回 JBA ソフトボール大会報告

5

JETRO Los Angeles 報告

「南カリフォルニアにおける日系企業の最近の動向」

6-7 インタビュー「私のLAライフ」

8-9 新入会企業紹介

10-12 各部会からのお知らせ

12 11月・12月のJBAイベントカレンダー

第52回 ソフトボール大会報告

去る9月12日、13日、19日、20日の土日、4日間にわたり第52回ソフトボール大会を開催。今年も総勢44チームが、優勝を狙って熱い試合を繰り広げた。昨年は、一昨年まで7連覇の絶対王者、Mitsubishi Electricが決勝トーナメント1回戦で姿を消すという波乱の展開。新たな時代が幕開けてから1年、今年の勝負の行方はいかに…。

昨年活躍したチームが 今年も決勝トーナメントに進出

毎年恒例のJBAソフトボール大会も、今年で52回目。今大会も総勢44チームと多くのチームが出場し、2週末にわたって勝敗を競い合った。大会の初日と2日目は、3チームごとのブロックに分かれての総当たり戦（2チームの場合もあり）を行い、上位2チームが3日目からのトーナメントに出場するというルールは今年も変わらず。1試合でも勝てば勝ち上がれる可能性があるという、どのチームも真剣に勝負に挑んだ。

3日目、32チームに絞られた中から8チームの決勝トーナメントに勝ち上がったのは、昨年の大会で大番狂わせを演じて優勝したTokio Marine、一昨年までの絶対王者Mitsubishi Electric、昨年Mitsubishi Electricをベスト8で破り準優勝に輝いた

American Honda、昨年3位のNippon Express、昨年8位のHotta Liesenberg Saitoなど、手堅い顔ぶれ。そこに2007年準優勝の古豪Ernst & Young、そして躍進著しいToyota-A、OCS/KDDIが食い込む形となった。

強豪4チームが 優勝を目指して火花を散らす!

そして雌雄を決する4日目最終日の決勝トーナメント、1試合目はTOYOTA-A対Mitsubishi Electric、OCS/KDDI対Tokio Marine、Ernst & Young対American Honda、そしてHotta Liesenberg Saito対Nippon Expressの4カード。

まずTOYOTA-AとMitsubishi Electricの試合は、Mitsubishi Electricが20対9で勝利。ただ、TOYOTA-Aも黙って負けたわけではなく、1回表で6点を失うも、その



裏すぐに4点を返すなど序盤には見せ場を作り、試合を盛り上げた。

OCS/KDDI対Tokio Marineの試合は、18対4でTokio Marineが攻守ともに安定した試合運びで危うげなく勝利。しかし、ここまで勝ち上がったOCS/KDDIの健闘も大いに讃えたい。

Hotta Liesenberg Saito対Nippon Expressは17対3と、こちらもNippon Expressが高い攻撃力と守備力を見せつけ、貫禄の勝利。Hotta Liesenberg Saitoは去年に引き続きベスト8で涙を飲んだ。

Ernst & Young対American Hondaの試合ではAmerican Hondaの打線が爆発。6回までに29点を取り、29対9のスコア勝ちを決めた。Ernst & Youngも3回に6点を返すなど善戦したが、及ばなかった。

初戦4試合の結果、昨年の復讐に燃えるMitsubishi Electric、ディフェンディング



決勝トーナメント1回戦、Mitsubishi Electric相手に大量失点せず、20対9と善戦したToyota-A



決勝トーナメント1回戦、Tokio Marine相手に苦戦するも最終回では3点を奪って意地を見せたOCS/KDDI



Ernst & Young相手にいきなり攻撃が爆発したAmerican Honda。気持ちいいくらい打線が繋がった



昨年と変わらぬ重量打線でHotta Liesenberg Saitoを危うげなく下したNippon Express



9対8のヒリヒリする展開を制したNippon ExpressとAmerican Hondaの準決勝戦は本当に見応えがあった



Mitsubishi Electricと互角の戦いを見せるも、ここぞというところで一発が出ず準決勝で敗退したTokio Marine

チャンピオン Tokio Marine、昨年準優勝の American Honda、そして3位の Nippon Express と強豪チームが順当に勝ち残り、頂上を目指して残りの試合を戦うことに。

Mitsubishi Electric が 王座の指定席を取り戻す!!

準決勝1試合目、American Honda 対 Nippon Express は互いに一步も引かず。5回まで Nippon Express が8対4でリードするが、American Honda も追いつける。結果、9対8の接戦を Nippon Express がものにスリリングな試合となった。

準決勝2試合目、Tokio Marine 対 Mitsubishi Electric の試合も互いに譲らぬ好試合。4回まで12対8と互角の展開ながら、そこから Mitsubishi Electric がじわじわ得点を重ね、16対10で競り勝った。

Tokio Marine と American Honda の3位決定戦はちょっとしたサプライズ。昨年王者の Tokio Marine が31対6の大差で試合を落としたのだ。しかし、毎回ビッグイニングを作った American Honda の勢いは圧巻で、来年の活躍も楽しみとなった。

そして決勝戦は王座奪還を狙う Mitsubishi Electric と、初優勝をさらいたい Nippon Express が相見えた。試合は Mitsubishi Electric が初回3点、2回2点、4回、5回に5点ずつと着実に得点を重ねていったのに対し、Nippon Express は1回に1点、3回に2点を取るもそれ以外の回は1点か0点のみと見せ場を作れず。結果、18対6で Mitsubishi Electric が勝利し、1年越しに王者の地位を取り戻した。

大会終了後は表彰式が行われ、企画マーケティング部会員が各チームにトロフィーを

手渡し、4日間の激闘を労った。常勝チームが順当に勝ち上がり好試合を見せ、結果、絶対王者 Mitsubishi Electric が見事復活した今大会。来年もこの流れが続くのか、それとも新たなダークホースが現れるのか、次回のソフトボール大会も目が離せない。



3位決定戦でまさかの大敗を喫した Tokio Marine だが、今年も勝負強さを存分にを見せてくれた



決勝でも単打長打織り交せて得点を重ねた Mitsubishi Electric



決勝で自慢の重量打線が少し噛み合わなかったのが残念だった Nippon Express



Mitsubishi Electric が昨年の屈辱を晴らし、見事8回目の優勝を決める!



当然のように優勝を手にした Mitsubishi Electric。また長期政権が始まるのか!?



昨年の3位に続いて今年は準優勝となった Nippon Express。来年こそは…



準決勝で惜敗するも、決勝トーナメント唯一のド迫力打線を披露してくれた American Honda が3位



昨年の優勝は決して単なる幸運ではないことを示し、見事4位に輝いた Tokio Marine



Mitsubishi Electric 相手に好勝負を演じた Toyota-A が5位の座に

トーナメント上位8チーム

優勝 Mitsubishi Electric



準優勝 Nippon Express



3位 American Honda



4位 Tokio Marine



5位 Toyota-A



6位 Hotta Liesenberg Saito



7位 Ernst & Young



8位 OCS/KDDI



ソフトボール協賛企業

Asashi Beer U.S.A., Inc.
Kirin Brewery of America, LLC
Sapporo U.S.A., Inc.

ITO EN (North America) Inc.
Taisho Pharmaceutical
California, Inc.

Nissin Foods (USA) Co., Inc.
Sanyo Foods Corp of America
Morinaga Nutritional Foods, Inc.

Yakult U.S.A. Inc.
METRO SIGNS, INC.

北川 & イベート法律事務所



KITAGAWA & EBERT, P.C.

北川 リサ 美智子 弁護士

CALIFORNIA, TEXAS, NEW YORK, GEORGIA

京都大学法学修士・連邦最高裁判所認可弁護士

WWW.JAPANUSLAW.COM

With Lawyers Licensed in Multiple States Including
CALIFORNIA • TEXAS • NEW YORK • GEORGIA • NEVADA • U.S. PATENT • WASHINGTON DC

北川・イベート両弁護士ともにMartindale-Hubbell Peer Reviewにおいて“AV PREEMINENT” (法的能力・道徳性) 評価

WALL STREET JOURNAL. Chicago Tribune Los Angeles Times 各誌にて紹介

EXPERIENCE
経験

SUCCESS
必勝

REASONABLE
良心的

- 訴訟・調停・仲裁・債権回収
- 契約法・ビジネス取引・流通
- 雇用法・残業・セクハラ・RIF
- 資産売却・M&A・無税法人再編成
- 不動産・リース・建設
- 税務争訟・遺産・相続

(949) 788-9980 INFO@JAPANUSLAW.COM
300 SPECTRUM CENTER DRIVE SUITE 960, IRVINE, CA 92618-4998

JETRO Los Angeles

南カリフォルニアにおける 日系企業の最近の動向

去る9月22日にToyota USA Automobile Museumで開催された2015年度第4回常任理事会で、ジェトロ・ロサンゼルス吉村佐知子事務所長が「南カリフォルニアにおける日系企業の最近の動向」について発表を行った。



発表を行う吉村ジェトロ・ロサンゼルス事務所長

最近の日系企業 新規進出事例

全米で最大数の日系企業が集まる南カリフォルニア。近年はTOYOTAのテキサスへの移転などという話があるものの、依然として南カリフォルニアへの注目度は高く、日系企業からのジェトロへの問い合わせも、2013年の247件、14年の242件を上回るペースで、15年は4月1日から9月15日に117件を受けていると吉村所長。「カリフォルニア州は雇用コストや、税制の面でマイナス面もあるものの、JBAと共同で実施した『南カリフォルニア日系企業実態調査』でも多数の企業がカリフォルニアの魅力としてあげた、市場の大きさ、日系社会の大きさ、気候、物流拠点、日本に近いなどの魅力は変わらず存在し、日系企業からの新規進出の問い合わせは増えています」。

近年、進出した企業の例としては、航空分野ではすでに米国内で事業を展開している企業2社が、アフターケアの面を考慮した米国企業からバックアップを受けて、工場を新設するケースがある。航空宇宙分野はLAEDC（ロサンゼルス郡経済開発公社）や市などからも日本企業との連携を望む声があり、マッチメイキングイベントも開催されている。

エンターテインメント分野では、日本の官民ファンドであるクールジャパン機構の案件としてマニア向けアニメグッズをインターネットで販売する会社が進出し、事務所のみならず倉庫も構えている。「なぜ倉庫まで用意するかというと、マニアにとってはパッケージも非常に重要で、日本から一般の運送会社に頼んで送るとパッケージに傷が出て、苦情のもとになるそうです。そのため自分たちで壊れないように発送するということ

だそうです」と吉村さん。

一般機械・同部品分野では、日本が非常に優れた技術を持つ自動ドア関連の企業が今年事務所を開設予定である他、ライフサイエンス分野では、バイオ実験道具の企業が事務所を設立。「この会社はゼロから流通システムを作るのではなく、米国でパートナーを見つけて活動されています」。

業種別に見ると、ジェトロへの問い合わせが最も多いのは食品関連で、食品だけではなく食品加工機械を扱う企業も増えている。また日本で市場が開放されたサプリメントを扱う企業も多いという。サービス産業ではラーメンブームの追い風もあり、ラーメン店の問い合わせは非常に多く、現在も2社が開店準備を進めている。この他には、バイオ、環境、宇宙、工作機械などの技術関連の問い合わせも多数。

「私は赴任して3年ほどですが、以前は『これを輸出したいのだけけど…』といったざっくりした問い合わせが多かった印象があります。今は『こういうものを、こうしたターゲットに売り込みたい』という目的意識をはっきりした企業が多い実感です。また、ゼロから米国の流通システムに入り込むのは難しいと考える企業も多く、企業買収、または技術提供を検討される企業も増えています。それに伴い、私たちが商品の流通先を探すよりも、提携先、技術提供先を探すなどということの方が主になりつつあります」。

北カリフォルニアからの進出と 日本企業が抱える課題点

最近の日系企業の進出パターンとしては、北カリフォルニアからの移動も増加している。もちろんシリコンバレーのある北カリフォルニアは、イノベーションを考えた際には非常に重要な拠点であり、急速に進出企業数が増えているのは間違いない。「しかし製造よりはベンチャー企業が多く、またサンフランシスコに集積しているのはIT関連が中心のため、それ以外の産業では実際に投資を受



けて商品を流通させるとなると、サンフランシスコ周辺ではなく、ロサンゼルス企業と提携し、技術者を探して、ロサンゼルスから流通させるパターンが非常に多いのです」と吉村さん。北カリフォルニアの家賃や人件費の高騰を受けて、南カリフォルニアのシリコンビーチなどへ移転する企業は米国企業に限らず、日系企業にも何社か見受けられるようだ。

「一般的にカリフォルニアは、北がイノベーション、南が市場と言われていますが、南カリフォルニアには実はその両方があると感じています」。シリコンビーチの他、ロサンゼルスにはインキュベーションセンターが数多く存在し、リトルトーキョーのすぐ近くにはロサンゼルス市が作っている環境・エネルギー関係のインキュベーション「Cleantech Incubator」がある。また、エンタメ分野ではDisneyのインキュベーション「Disney Accelerator」がある。ここへの入居者を選ぶ公募では、日本のアプリ会社が優勝し、現在Disneyと共にアプリを開発している。この企業も、もともとサンフランシスコでこうした機会を狙っていたがチャンスがなく、公募をネットで見つけ、現在は着実にこちらで事業を展開している。「それに加え、バイオやIT、Port of LA、航空宇宙ロボットなどのインキュベーションがあります。詳細はジェトロまでお問い合わせください」と吉村さん。

またジェトロでは、米国への規格の対応に取り組む「認可・認証取得支援プログラム」への問い合わせも歓迎している。「日本企業は、実は進出の際に米国の規制・規格に対応していない場合が多く、せっかく展示会に来られて商談に入っても破談になってしまったケースもあります。認証を取得するには1年以上の時間やお金もかかりますので、開発時点で米国を意識したシステムにし、同時に取得するなどアドバイスをしたり、ULやNSF、FDA認証取得のお手伝いをしたりしています」。問い合わせはジェトロ・ロサンゼルス事務所（☎ 213-624-8855）まで。

インタ 私のLA

ロサンゼルスで活
企業の皆さんの、企
姿と、オフの素顔を



EOS Accountants LLP
ロサンゼルス事務所パートナー

もりした しずこ
森下 紫珠子 さん

物事の優先順位を見極め 仕事もプライベートも充実

1969年大阪府生まれ。2歳でNYへ。ロンドン生活を経て、82年にLAに転居。University of California, Santa Barbara卒業後、Ernst & Young LLPに入社し、日系企業部門で監査業務に従事。2004年にEOS Accountants LLP入社。08年より同社パートナー。

日米の文化の違いを踏まえ 監査業務に従事

商社勤めだった父の転勤で、2歳の時にニューヨークへ。小学校4年生でロンドンに転居し、中学でロサンゼルスに引っ越してきました。商社で働き、後に独立した父の姿を見ていましたので、ビジネスに興味があったのと、女性が仕事をしていくためには資格が必要と思い、大学では会計を中心にビジネスエコノミクスを専攻しました。

91年にUniversity of California, Santa Barbaraを卒業した後、ロサンゼルスの会計事務所Ernst & Young LLPの日系企業部に就職し、監査業務に12年間従事しました。中学、高校と現地校に通っていたので、それが日本の文化との久しぶりの再会でした。

ご存知の通り、日本とアメリカの企業ではビジネスの文化が異なります。アメリカ



2年前から再開した趣味のゴルフでJBAのトーナメントにも参加。時には長女とレッスンを取ることも

の顧客であれば、単刀直入に「駄目です」と伝えるところも、日本の顧客に対しては配慮が必要です。また、明瞭に説明しないと、日

本の会計基準そのままで大丈夫だと誤解される方もいます。しかし、監査業務は会計基準に基づいての意見書ですので、アメリカの基準を理解していただくことが必要です。

とは言え、ビジネスも人と人の関係ですから、さほど重要ではないところを厳しく伝えても関係を悪くするだけですよね。物事の重要性を見極めて優先順位を付け、肝心なところを間違いなく伝えていくことが大切だと考えています。

仕事に子育て… マルチタスクをこなす秘訣

そうした優先順位の見極めの重要性は、2004年にEOS Accountants LLPに移り、監査部門を立ち上げて以降、より実感するようになりました。08年にパートナーという立場になり、監査業務だけではなく監査のクオリティコントロールや対外関係も含めて見る立場になったからです。日系企業に関する会計監査業務は毎年1月から4月が繁忙期で、クオリティコントロールの作業として、何百社もの財務諸表の最終審査を行うため、その時期は特にマルチタスクが必須です。パニックにならずに繁忙期をこなしていくにも、やはり優先順位が大事です。

子育ても同じです。実は長女を出産した

のが26歳。その時は社会人になって仕事を始めて4年目の忙しい時期でした。当時は、いったん帰宅して夕食を作って、子どもを寝かせてからまた仕事に戻ったりと、優先順位を付けてリストをこなしていました。また、仕事と子育てを両立できたのは、同じく会計士の夫の理解と協力があったからにほかなりません。

2年前からは、ようやく子育てが一段落し、出産前までは週1回のペースでプレーしていた趣味のゴルフを再開し、日々練習を重ねています。チャレンジングで、良い気分転換です。これまでは子育てと仕事に追われる生活でしたが、最近はジムや旅行などプライベートな時間を楽しむ余裕も出てきました。

会計の世界は、ここ10年ほどアメリカの会計基準がグローバル基準に近付くなど、さまざまなことが変化しつつあります。今後も常に勉強を怠らず、在米日系企業の監査に携わる者として、日本とアメリカの文化の違いを踏まえた上で、質の良い監査、会計サービスを提供し続けていきたいと考えています。

COMPANY INFO

EOS Accountants LLP © 1996年設立の会計事務所。在米あるいは米国進出を計画する日系企業を中心に、会計監査、税務および各種コンサルティングサービスを提供している。現在全米8カ所、および日本に事務所を展開。

ビュー ライフ

躍するJBA会員
業人としてのお伝えます。



アメリカに来て強く感じる 車全体を意識したデザインの重要性

1965年新潟県生まれ。88年に東北工業大学卒業後、同年、トヨタ自動車入社。入社後は一貫して自動車のインテリアデザインを担当。デザインチームのチーフ、車内外デザイナーのマネジメントなどを経験後、2012年にLAのCalyt Design Researchに赴任。

大きな人生の転機となった 憧れの Calyt への赴任

LA への赴任は人生の大きな転機でした。大学卒業後 24 年間、愛知県のトヨタ自動車本社から一歩も動いたことがない人間だったので… (笑)。上司から赴任の件を持ち出された時は、家族が海外生活に慣れられるかや言葉の問題など不安でしたね。でも、Calyt で働くことはトヨタでデザインをする者として憧れでしたし、妻と話して「後で後悔するなら思い切って行っちゃおう」と、LA 行きを決意しました。

Calyt は主に、未来のトヨタやレクサスの車のスタイリングを提案する先行デザイン開発やコンセプトカーの制作、世界各地で販売されるグローバルカーのデザイン競作、アメリカのみで販売される北米専用車の製品化デザインを行っています。ここで私は、社長に次ぐ「Director, Coordination」という立場で、全体的なデザインのディレクションや組織のマネジメント、本社と Calyt のコミュニケーションを円滑にする手助けなどの業務に従事しています。



昨年、家族旅行で訪れた、ヴァージニア州、スミソニアン国立航空宇宙博物館での1枚

Calyt の最近の成果が目立ったものを挙げると、まず 9 月に発表された 4 代目「プリウス」のプロジェクト初期段階でアイデア開発に参画し、インテリア、エクステリアの最終デザインに影響を与えました。また、この秋に発売となるピックアップトラック「Tacoma」や「Tundra」などのモデルチェンジにおけるデザインの刷新も大きな仕事でした。このピックアップトラックというのはアメリカ独自のもので、アメリカで車のデザインをする大きな醍醐味の一つだと思います。日本ではまず携われぬ仕事ですし、アメリカ人のトラックに対する思いや日常における使用法などをしっかり理解した上でデザインしなくては行けませんから、日本にはない価値観を知ることができました。

そのほか、「Avalon」や「Sienna」などの北米専用車をデザインする際も、日本でデザインをしていた時とは少し違った気遣いが必要です。アメリカは道路がとにかく広いので、車の外観の見え方も日本とは全然違うんです。広い道路で車 1 台 1 台の細かいディテールは見えませんが、個性を主張するにはもっと全体のシルエットやバランスに注意したデザインが重要になってきます。これは実はアメリカでなくてもデザインにおいて非常に重要なことで、日本でも意識はしていましたが、LA に来てその意識はさらに高まりましたね。

自分の駐在任期後も 会社がさらに良くなる仕組みを残したい

家族は妻と 16 歳の娘と 10 歳、7 歳の男の子がいるのですが、当初の心配をよそに、皆こちらの生活に馴染んで楽しく暮らしています。子どもたちは現地校と補習校に通って月曜から土曜まで毎日勉強で大変そうですが (笑)。

駐在は 2016 年の 6 月までなので、こちらにいる間に休みの時はなるべく家族で遠出するようにしています。これまでもヨセミテやグランドキャニオン、サンフランシスコ、フロリダ、カンクンなど色々な場所に行きました。それから、ニューヨークとナイアガラの滝には行っておきたいですね。

あと、帰任までに Calyt の将来につながるような提案や仕組みを残していけたらと考えています。今、Calyt はトヨタ本社の期待に応え、とてもいい提案やデザインができています。僕の帰任後も、それがさらに良くなっていくような組織やマネジメント体制、人材育成の仕組み作りに取り組んでいきたいですね。

COMPANY INFO

Calyt Design Research, Inc. © 1973年に設立されたトヨタ自動車の北米デザイン拠点。トヨタ自動車本社から依頼を受けての先行デザイン開発、北米生産車の製品化デザインなど、業務内容は多岐に渡る。

新入会 企業紹介

H.I.S. INTERNATIONAL TOURS (NY) INC.

業務内容

同社は日本の株式会社エイチ・アイ・エスの、米国における旅行事業を担うグループ会社であり、1988年に設立された。

エイチ・アイ・エスは、1980年に旅行事業を核に設立。現在では世界各国に150店舗以上を置き、旅行事業のみならずホテル事業、航空事業、テーマパーク事業を手掛けている。

また、米国内では10都市13拠点で展開しており、各拠点で旅行情報に通じたスタッフが適正価格で、より快適で、喜びと感動にあふれた旅のサポートを行っている。



小竹さん

JBA入会動機

「日系企業の皆様との交流を深め、私どもが皆様のお役に立てるサービスをご提供させていただくとともに、地域、日系企業の発展にお手伝いさせていただく機会があればと思います、入会させていただきました」(Managerの小竹さん)

DATA

住所：420 E. 3rd St. Suite 608
Los Angeles, CA 90013
☎ 213-614-0777
FAX：213-688-1277
Web：www.his-usa.com
責任者：小竹寿英 (Manager)
従業員数：150人
他の営業拠点：ニューヨーク、ボストン、マイアミ、シアトル、サンフランシスコ、ラスベガス、サンディエゴなど

Kamei North America Co., Ltd.

業務内容

同社は仙台に本社を置くカメイ株式会社の子会社として、米国でスーパーマーケット事業を展開するMitsuwa Corporationの親会社である。

カメイ株式会社は日本で石油・LPガスなどのエネルギー、酒類・食品、建設資材等の販売事業、調剤薬局事業等を展開している。同社は、北米でのカメイグループの事業拡大を図るべく、北米でのM&A等による既存事業拡大や新規事業創出の役割を担っている。

カメイグループの主な海外事業として、米国においてはMitsuwa Corporationによるスーパーマーケット事業、KCセントラル貿易グループによる米国への日本食材輸入販売事業、カナダにおいてはラーメン店の運営、シンガポールを中心とした東南アジア地区では、船舶用潤滑油販売、船舶用潤滑油納入、日本食材輸入販売、ラーメン店の運営などを行っている。

今後はさらに北米およびアジア・オセアニア地域に注力し、事業の拡大、多角化を目指していく。



水野さん

JBA入会動機

「JBAの催しを通じ多くの方々とお知り合いになればと思います。そしてこの地でのビジネス機会を広げることができればと考えております」(Executive Vice Presidentの水野さん)

DATA

住所：1815 W. 213th St. Suite 230
Torrance, CA 90501
☎ 310-782-1900
FAX：310-782-7255
Web：www.kamei.co.jp
責任者：水野明徳 (Executive Vice President)
従業員数：2人
他の営業拠点：日本、カナダ、ロシア、中国、香港、シンガポール、タイ、ベトナム、フィリピン

Lacto USA Inc.

業務内容

Lacto USA Incは、2009年12月にLacto Japanの100%子会社として発足した。社名のラクトとはラテン語で「乳」を意味し、その名の通り、設立以来、乳製品を中心に、冷凍野菜、乾燥果実、果汁などの、日本ならびに東南アジア向け輸出ビジネスを行ってきた。

親会社であるLacto Japanは乳製品の輸入を中核とする食品専門商社で、日本が輸入する乳製品原料取扱量シェアのおよそ30%を占めている。こうした乳製品は原料調達や物流段階でも高度な安全管理が必要とされることから、高いノウハウとスキルを有する食品専門商社である同社の必要性が非常に高い。このほか、同社は、乳製品で培ったノウハウを生かして、豚肉や生ハムなどの食肉加工品輸入事業を展開している。



川口さん

JBA入会動機

「8月28日にLacto Japanが東証2部に上場したこともあり、Lacto USAとしてもJBAを通じ地域社会に少しでも貢献していきたいと考え、JBAに加盟した次第です」(President & CEOの川口さん)

DATA

住所：3655 Torrance Blvd. Suite 470
Torrance, CA 90503
☎ 310-316-6250
FAX：310-316-8019
責任者：川口博史 (President & CEO)
従業員数：5人

三井倉庫は食品の温度管理輸送を開始しました

お問い合わせ：800.mitsoko (6487656)
sales@mitsui-soko-usa.com

1 Touch Office Technology

業務内容

1 Touch Office Technology は、リコーコーポレーションのサウスベイ地区、オレンジカウンティ地区専門担当のメーカー認定代理店として2002年にトランス市に設立された。

コピー、カラープリンター、スキャナー一体型複合機のリース、メンテナンスから、ペーパーレスおよびドキュメントの書類管理システム、さらにIP電話機、電話回線サービスと幅広いサービスを展開し、各顧客それぞれのニーズに合わせた最適なサービスを提供している。

複合機リース、また新しい電話回線サービスにおいて、格安ながら良質なサービスが顧客に好評を博している。

JBA入会動機

「今までお世話になってきた日系コミュニティに少しでも恩返しができればと考え、入会させていただきました。今後メンバーの方々と情報、意見交換をさせていただき、少しでもお役に立てていただければ幸いです」(Sales Managerの坂井さん)

DATA

住所：370 Amapola Ave.
Torrance, CA 90501
☎ 310-320-6868
Web：http://1touchoffice.com
責任者：坂井 誠 (Sales Manager)
従業員数：30人

PHR MANAGEMENT INC

業務内容

同社は、総合不動産会社である株式会社ケン・コーポレーションのグループ会社「Premier Hotel Group」の一員として、現在、カリフォルニア州において、Anaheim Majestic Garden Hotel (元 Sheraton Anaheim Hotel)、および Lake Tahoe Resort Hotel (元 Embassy Suites Lake Tahoe) の2つのホテルを所有・運営している。

同グループ全体としては自社ブランドを始め、Hyatt、Hilton、Marriott、Starwood等のインターナショナルブランドホテルも所有・展開し、グアムに5ホテルと1ゴルフコース、サイパンに2ホテル、そして日本国内には18ホテルおよび旅館を所有・運営し、業界に確固たる地位を築いる。2015年7月には沖縄県において「ハイアットリージェンシー那覇沖縄」を開業。今後も日本国内外へ積極的に展開を進める予定である。

JBA入会動機

「本年5月下旬に Sheraton Anaheim Hotel を『Anaheim Majestic Garden Hotel』としてリブランドオープン致しました。これに伴い、さらなるお客様のご満足を目指し、そして日本のお客様をお迎えたく、日系企業の皆様との交流を通じ、ご助言ご助力を頂けましたら幸いです」(Presidentの柳澤さん)

DATA

住所：900 S. Disneyland Dr.
Anaheim, CA 92802
☎ 714-234-2412
FAX：714-533-3017
Web：http://premierhotel-group.com
責任者：柳澤 建 (President)
従業員数：約400名
他の営業拠点：グアム、サイパン、韓国、日本国内

Xerox Corporation

業務内容

同社は、複写機、プリンターおよび関連ソフトウェアの開発、製造、販売、ドキュメントアウトソーシングを通じ、グローバル先進企業として活躍する米国企業である。

創業は1906年で、ニューヨーク州ロチェスターにおいて、印画紙や関連機器を製造する企業として始まった。1958年には、チェスター・カールソンが38年に開発した電子写真技術(後にゼログラフィックと改称)を使用した世界初の複写機を販売し、一躍注目を集めた。以後、現在に至るまで業界を牽引し、成長を続けている。

また2010年には、Affiliated Computer Service (ACS) を買収。ドキュメント関連事業に加え、業務プロセスサービスを提供する企業として、顧客企業の業務プロセス変革や情報管理の効率化を支援している。

JBA入会動機

「日系企業のビジネスが活発な南カリフォルニアにおいて、JBAを通してそのコミュニティに仲間入りさせていただき、ネットワークを広げ、ビジネスそしてコミュニティ活動で貢献していきたいと考えております」(Senior General Managerの今井さん)

DATA

住所：555 S. Aviation Blvd., M-1
El Segundo, CA 90245
☎ 310-333-2015
Web：www.xerox.com
責任者：今井 治彦 (Senior General Manager)
他の営業拠点：世界180以上の国と地域

自動車リースは
アメリカでクレジットが無いと
出来ないと思いませんか???

- ソーシャル・セキュリティ番号がなくても、または申請中でも OK!
- 全米どこでも OK! どんな田舎でも、都会でも OK!
- どんな車種でも OK! シビック、カローラ、カムリ、アコード、などの日本車、アメリカ車、ヨーロッパ車、何でも OK!
- リース期間は1年から OK!
- 15ヶ月とかの変則月数でもリース可能です。
- リース料は契約期間が長くなるほど安くなります。
- リース終了後は月極めで延長も可能です。
- 納車は注文からわずか1週間ほどで可能です。
- 自動車保険の手配もお任せ下さい。

いえ、
出来るんです
どなたでも、全米この町でも OK!

お気軽に電話または
e-mail でお問い合わせください。

電話：213-621-7775
担当は、大橋：ohashi3@pacbell.net
又はゆきまさ：yukimasa@pacbell.net

朗報 カリフォルニア州の皆さんには、格安中古車リース
もありますので、在庫車種をお問い合わせください。

*各種情報はウェブサイトでも、ご覧になれます。
www.LaJapaneseAuto.net

親切で安心して任せられる 33 年の実績信頼 小東京で 1980 年創業

LOS ANGELES JAPANESE AUTO
810 E. 1st St., Los Angeles, CA 90012 • Tel:(213) 621-7775 • Fax:(213) 687-0909



*現在このリースプログラムを三菱電機社、NEC社、PANASONIC社など各企業の皆様に全米でご利用いただいております。

オレンジカウンティ地域部会

「現地校セミナー」報告

文: Isuzu North America Corporation・小田隆介さん

9月26日、第22回オレンジカウンティ地域部会「現地校セミナー」が、IUSD（アーバイン統一学校区）の協力の下、アーバインの Jeffrey Trail Middle School にて開催されました。

このイベントは、現地校にこれから通う、もしくは既に現地校に通っている日本人子女に向けたアメリカの教育制度や授業内容に関するセミナーであり、JBA ボランティアの通訳を介して、現地校の先生方と直接話ができる絶好の機会となるもので、会員の皆様からも非常に好評をいただいております。今回は延べ31組63名の方々にご参加いただきました。

今回のセミナーも例年同様3部構成で行われ、第1部「現地校事務局からのア

ドバイス」、第2部「現地校教師との懇談会」、第3部「現地校日本人生徒とその保護者のパネルディスカッション」によって構成されました。

第1部では、IUSD Language Minority Programs の楠部様より、学校区の説明や、英語学習者の課題、お子様へのサポートと両親の学校との関わり合い等、基本的な事項について、日本語で講演いただきました。

第2部では、学年別にグループを5つに分け、現地校の先生とのディスカッションや質問が行われました。教師によるカリフォルニアにおける教育制度や ELD 制度の説明から、現地校での授業内容や宿題に関する相談等、活発なコミュニケーションが行われました。今回のセミナーでは通訳が入ることにより、現地校の先生とも気軽に会話でき、参加者の皆様の疑問も解消されたものと思います。

第3部では、実際に現地校に通われている生徒4名と保護者2名の方にパネラーとしてご参加いただき、事前に用意した質問事項をベースに質疑応答が行われま



した。実際に苦労したことや、工夫したこと、体験談を直に聞くことにより、参加者の皆様にも今後の学校生活のイメージを持っていただくことができました。

上記項目をもって今回の「現地校セミナー」も無事終了し、参加された方々にも好評をいただきました。子女の教育支援活動は JBA の重要項目の一つであり、OC 部会としても今後も継続して同様の活動を行うことにより皆様の教育支援活動に協力していきたいと思っております。

最後になりますが、休日にもかかわらずご協力いただきました IUSD の皆様、パネリストとして参加いただいた皆様、通訳等でボランティアいただきました皆様に、改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



あさひ学園だより

親子で漢字検定 あさひ学園事務局



テスト受検中の児童

本校は日本漢字能力検定の準会場に指定されており、本校在籍の児童・生徒ならびに保護者のうちで希望者を対象に、年2回実施しています。2級から10級の各級を受検することができ、普段の学習成果を計

る一つ的手段として多くの子どもたちが受けています。また保護者が一緒に受検することで、親子共通の目標を持ち勉強することができ、苦手な漢字も励ましあって取り組めるようです。

また、同じ家族から2名以上が合格した場合は、日本漢字能力検定より「家族合格表彰状」が送られます。6月21日実施の



第1回検定では、合計7家族(15人)が表彰されました。家庭内での学習環境づくりにも良い影響となります。

家族賞を受賞したサンゲール校の高野里穂さんと花菜さん



家族3人が合格したオレンジ校の浅子拓真君と、担任の鎌田先生



家族賞を受賞したトランス校の芝山詩穂さんと睦喜君

サウスベイ地域部会

ビーチクリーンアップ報告

文: Kintetsu Enterprises Company of America・小林圭志さん

9月19日、ロサンゼルス
の Dockweiler State Beach でビーチクリーン
アップボランティアに家族5人で参加
しました。JBAのイベントをいつものよ
うに妻に転送していると、「息子たちが
参加したい」との、正直意外な(?)返
信があったのでビックリ。LAに来て1
年強、息子たち(3人とも High School)
もこちらの生活に感化されてきたのか
なとうれしい気持ちで当日を迎えました。

行ってみて一番びっくりしたのが、
JBAでも参加者は多かったのですが、他



のボランティア
団体が多数来て
いて、想像以上
に盛大なイベン
トであったこと

です。他団体からコーヒーの支給あり、
ラッフルありで、本当に楽しめました。
Dockweiler State Beach は LAX の 近
くなので、上空には絶え間なく国際色豊
かな航空機が見られ、青空で天気も良
く、JBA からはお弁当まで支給され、ボ
ランティアというよりも楽しい半日を海
辺で過ごせた、という感じでした。

本題のゴミ拾いについては、事前に
Heal the Bay の豊島さんから説明を受
けられたことが今後の参考になり良か
ったです。家の周りに落ちていたゴミも
雨が降ったら海まで流れていく話、ゴ
ミの種類によっては魚が食べてしまい、
悪影響を与えること、近くに Hyperion
Treatment Plant という巨大な下水処理
場があることなど、知らないことだらけ



でした。ゴミ拾いの成果は、というと、
手袋とバケツを渡され、意気込んでゴミ
を探し始めたのですが、多数の参加者
の影響もあって思ったほどゴミをピック
アップできなかったのですが、それでも
海岸を歩き回り、何とかバケツいっぱい
のごみを集めることができました。普段
は、鉄のくぎやガラスの破片がたくさん
あるらしく、みんなが裸足で楽しむビー
チはやはり定期的にクリーンアップしな
いといけいな、と感じた次第です。

ボランティアができ、知識も得られ、
イベントや景色を楽しめ、適度に運動や
日焼けもできたので、個人的には大満足
でした。ぜひ皆さんも参加してみても
幹事の皆様、お疲れ様でした。ありが
とうございました。

40年の信頼と実績

翻訳通訳業界のリーダー!



利他の心で働く

**HONYAKU
USA INC**

お問い合わせ

TEL : 310-316-6900

info@honyaku-usa.com

www.honyaku-usa.com


NORITZ®

The Simple Comforts of Life

TANKLESS給湯器に取り替えませんか?

「洗濯とシャワーでTANKのお湯が無くなった...」「バス
タブにお湯を溜めたいけど、お湯切れが心配」
こんな時は、エネルギー効率が良くお湯切れの心配の無い
TANKLESS給湯器に取り替えませんか?

お気軽にお問合せください。

1-888-382-6568(TOLL FREE)

JBA@NORITZ.COM



WWW.NORITZ.COM

11月 12月のJBAイベントカレンダー

11/6
(金)

第189回ビジネスセミナー
企画マーケティング部会

11/7
(土)

カレッジフットボール観戦
ダウンタウン地域部会

11/8
(日)

ロナルド・レーガン記念図書館&
カマリロアウトレットバスツアー
ダウンタウン地域部会

11/15
(日)

マラソン準備講座(計画編)
企画マーケティング部会

11/15
(日)

ニューポートビーチ
シャンパンランチクルーズ
オレンジカウンティ地域部会

11/22
(日)

第2回ゴミ拾いハイキング
地域部会合同

12/5
(土)

ワイナリーツアー
ダウンタウン地域部会

12/6
(日)

マラソン準備講座(実践編)
企画マーケティング部会

各イベントの詳細は、各部会からのお知らせ、
およびウェブサイトをご参照ください

新入会員

JPMorgan Chase & Co. 270 Park Ave., New York, NY 10017 ☎ 212-270-6000

三菱の新車を特別リース・価格で!!



- Mitsubishi Motors North Americaでは、日本人のお客様専用の窓口を設けて三菱車ご購入のサポートをさせていただきます。ストレスを感じることなく、スムーズにご商談を取り進めることが出来ます。
- 特別優遇金利ローン、特別優遇リースプログラムもご利用可能です(*)。
- お問い合わせは以下の日本人担当まで。
 - Fuminori Kojima (児島), Mitsubishi Motors North America
714-799-4790 • fkojima@mmsa.com
 - Hatsuki Nagai (長井), Anaheim Mitsubishi
949-427-1214 • rinasmom@gmail.com

2016 Outlander 2015 Outlander Sport

* 若干の条件制限がある場合もございます

mitsubishicars.com



パシフィックリム・カンパニーベネフィット・プログラム 米国駐在員のための金融サービスパッケージ

- ・渡米前に日本からの口座開設が可能
- ・便利な日本語コールセンター (フリーダイヤル・日本時間にも対応)
- ・ご帰国後の口座管理にも便利

まずはユニオンバンク日本語フリーダイヤル **1-888-507-7669** までお問い合わせください。

※このプログラムのご利用は会社登録をされた企業の駐在員に限られます。



A member of MUFG, a global financial group

©2015 Mitsubishi UFJ Financial Group, Inc. All rights reserved. Union Bank is a registered trademark and brand name of MUFG Union Bank, N. A., Member FDIC. Visit us at unionbank.com/japanese.